

出版事業

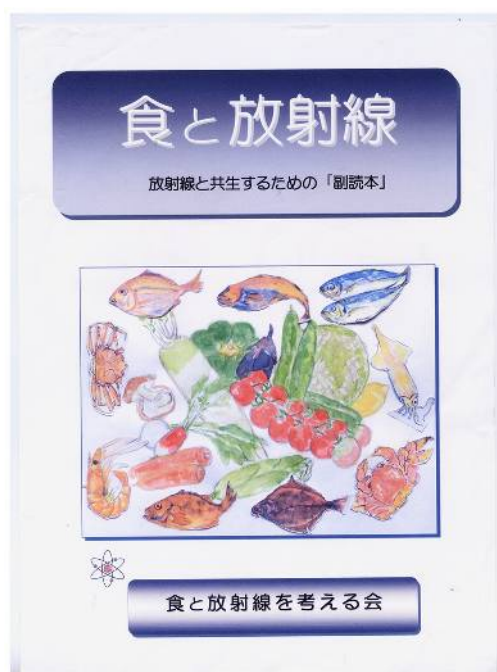
神奈川放友会図書出版 第2号

◇2012年（平成24年）9月15日 発行

食と放射線

— 放射線と共生するための「副読本」 — A4版 :139頁

“食品の放射能汚染”と“食品照射”の実態を理解するために、「食と放射線を考える会」の放射線技師と栄養士が情熱で綴った、放射線と共生するための「副読本」



企画：食と放射線を考える会 / 神奈川放友会

編集・執筆：長谷川 武 診療放射線技師
元川崎市立川崎病院放射線科主幹

早瀬 武雄 診療放射線技師
元茅ヶ崎市立病院放射線科技師長

上前 忠幸 診療放射線技師
元大和市立病院放射線科技師長

執筆：合原 康行 管理栄養士
神奈川県議会議員

＜特長＞ 次の5点を軸に編集されています

- 放射線を学ぶ
- 食品と放射線、放射能の関連を正しく知る
- 放射能のリスクを考える
- 食品のベクレル計算をカロリー計算のごとくに
- 食品の放射能汚染と食品照射を知る

[主な目次]

第1章 放射線を知る

第2章 放射能汚染と食生活

第3章 食品照射

第4章 放射能を防ぐ

第5章 食品の放射線測定

第6章 「食と放射線」Q & A

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による東電福島第一原発事故の放射能汚染は、一瞬にして健康被害を引き起こす元凶になってしまいました。空気・水・農作物・海水・魚介類は、放射能によって汚染されました。また、肉や野菜に於ける0-157の感染も起きております。

今ほど食物の安全性について、いろいろ考えさせられることはありません。

今回の事故で、放射線技師も栄養士も「食と放射線の知識」が、より必要であることを痛感しています。